

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○		○			○	○	○			○		○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社AXSEED	本社所在地	東京都
業種	サービス業(他に分類されないもの)	総従業員数	82名
事業概要	SPPM(クラウドサービス)の開発/構築/管理/運用 業務支援サービス、業務コミュニケーションアプリの開発/構築/管理/運用		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務規程
テレワーク担当部署	経営企画部 管理課
テレワーク対象者	全社員
実施者数	82名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 新型コロナウイルス対策として2020年2月から在宅勤務が社内で一気に加速。緊急事態宣言期間中は、原則出勤禁止とし、社員の健康を守り安心して業務出来る環境整備を行った。
- 緊急事態宣言解除後は、出勤制限を緩和したものの、在宅勤務を選択する社員が多く、社員の1割程度がおおむね週1回の頻度で出勤。

テレワークの概要・特徴

- オフィス勤務以外(主に自宅)を就業場所とする働き方。通勤時間の削減、移動による身体的負担の軽減や新型コロナウイルスの感染予防対策が図れ、時間の有効活用ができる。
- Slackなど活用し、在宅でもコミュニケーションの活性化を行う。
- 採用面接もオンラインで実施、全国から優秀な人材の確保を実現。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 通勤にかかる時間や労力を削減し、時間を有効的に活用。
- 在宅勤務のため、今まで支給していた定期券を廃止し、都度精算に変更したことによる経費削減。
- オフィスへの出勤頻度が減り、全社員分の座席を確保する必要がなくなったため、最低限の業務ができるスペースのオフィスへ引っ越しを行い、家賃、光熱費等の大幅な費用削減に寄与。
- 今まで通勤のためにオフィス近辺に住んでいた社員が、出勤頻度が減ったことにより、住居内の充実を求め、都心から離れた場所へ引っ越ししたりするなどワークライフバランスにも大きく影響を与えている。
- BCPの観点より、万が一の大規模災害や、台風・大雪など出勤が困難なときでも在宅勤務で対応可能。